

稲田の子

自尊感情について

校長 榎澤 実



数年前から、よくテレビや書物でも「自尊感情」という言葉を度々目にするようになりました。「自尊感情」にかかわる様々な調査も行われており、他国と比較したり、「自尊感情」を高める研究をしたりしている教育委員会もあるほどです。

つまり、それだけ重要なことであるという認識です。

「自尊感情」研究の先駆者は、「自尊感情」を「自己イメージの中核的な概念のことをいい、自己に対する肯定的または否定的な態度」と定義しています。

そして、この定義に従って「自尊感情」の内容を検討すると、自己イメージにおける肯定的な面としては、

できるという感覚、有能感、自信、前向き、積極的、信頼感、幸せな気持ちや自分を大切に思う気持ちなど



が、一方で否定的な面としては、

できないという無能感、無力感、劣等感、後ろ向き、消極的、不満感、つまらないという気持ちなど

があげられるということです。(また、「自尊感情」という言葉にはプラスとマイナスの価値を両面的、客観的に表わすことができるという利点もあるそうです。)

「自尊感情」が高いと、何事に対しても積極的に取り組み、豊かな体験を積み重ねていく中で、さらに自信がつき、自分を受け入れ、他者をも受け入れていくことができるように、逆に、「自尊感情」が低いと、人間関係を避けたり、チャレンジ精神が発揮できなくなったりするのだそうです。

「自尊感情」が低い場合は、自己に対して自信をもつことと、自己に対する尊敬が足りないと言われます。子どもたちは、「自尊感情」の多くを環境から学びます。自分の周りの人や物とかかわり合っているうちに、次々と途切れることなく新しい情報を受け取り、自分自身についての本質を見通して(見抜いて)いきます。このことが自分の価値の感覚を維持し、変えることになるということです。

ということは、もし、返ってくるものが常に否定的だとどうなるでしょうか。もし、返ってくるものが自分は価値があるのだと常に伝えるものであれば、……。

私たちが、子どもとどうかかわり合うのが、「自尊感情」を伸ばす上で、こんなにも影響があるということをお忘れはならないのですね。

いっしょなっ子の風景



写真：6の3校対授業研(算数)から。個別指導とTTとの連携。ペアで考え方の交流と学び合い深め合いの様子から。学校としてよりよい学びのある授業づくりと学力向上を追求していきます。

本校では、算数、道徳、音楽の授業づくりにかかわる研修を進めています。過日6の3で算数の研究授業が行われました。全教職員で授業参観をして学び合ったところです。

こうした中、昨日、4月に行われました全国学力学習状況調査の結果が全国で公表された旨、報道発表がありました。

本校の結果や傾向については、後日保護者のみなさまにもお知らせします。

仲間とともにじっくり考え よりよい笑顔の稲田小をつくろう！

過日 28 日に児童会役員選挙・立会演説会が行われました。

立候補した子どもたちをはじめ、クラスを挙げた応援体制の中、子どもたち自らが自分たちの学校をより良い学校にするためにどうしたらよいか、

4年生以上の子も達が自分たちの学校の姿を見つめ直す絶好の機会になるのが上半期折り返しのこの活動なのです。

この期間、クラスが一体となった知恵を出し合う活動も目を引きます。まさに今求められている力でもある、企画力や表現力なども試され、子ども達が大いに鍛えられ、意識を高め合う様子が見られます。机上の学習ももちろん大切ですが、人とのかかわりを通して、人間性を磨き、生きる力を育む場にもつながるのがこの活動、今回も大いに盛り上がりました。

さて、こうした中、今後も、稲田小学校で学ぶ全ての子どもたちが、将来への自立への基盤として、学校への愛着をより深め、笑顔があふれ、より「通いがいい」、「学びがいい」、そして保護者・地域みなさまにとって「通わせがいい」のある学校を目指し、下半期の取組も進めて参ります。下半期 10 月からの稲田小学校の教育活動にもどうぞご期待下さい。



平成 28 年度後期稲田小学校児童会三役（敬称略）

会長：橋井 晴生（6 年） 副会長：近野 竜斗（6 年）・白木 那奈葉（5 年） 書記：古村 南（6 年） 鎌田 真衣（5 年） 高山 三青（4 年）



4年下水道教室・環境学習支援事業から

帯広市の上下水道部の各部署の協力を得て、4年生で上下水道教室が行われました。帯広の水とミネラルウォーターのきき水をしたり、（今年も帯広の水がおいしい！と評判。ふるさとの清水に誇りを持ちたいですね。）汚水を分解する微生物を顕微鏡で観察や、水ができるところから汚水を処理するところまでわかりやすく説明を受けたりするなど、体験的に学ぶことができました。

同じく清掃事業課の協力で環境学習も行われました。ごみのリサイクルについての講義や廃油で走るごみ収集車へのごみ入れ等、キャリア教育にもつながる学習が行われ、体験的に学びました。

帯広市教委の支援（市内全小学校バス代金市教委負担）で 21 日に行われた郷土体験学習（くりりんセンター・下水処理場・浄水場）での見学とあわせて、4年生の学習効果が大きく高められています。

写真左上：上下水道教室から 写真右下：環境学習支援事業から

平成 28 年度 10 月の主な行事予定

3 日	(月)	安全点検日 P 挨拶 4 の 3 6 年バイキング給食 ふれあいパトロール会議 体育館開放休止～20 日 クラブ反省週間	21 日	(金)	学習発表会 体育館開放事業再開
4 日	(火)	P 挨拶 5 の 1 3 年交通安全教室（講師 帯広第一 自動車学校）4 年 P 学年部会議 19:00	22 日	(土)	いなっ子ワールド⑨（当初 8 日より変更）
5 日	(水)	6 年ふれあい天文学 P 挨拶 5 の 2	24 日	(月)	給食費納入日（低） いなっ子ワールド放課後版⑤
6 日	(木)	P 教養陶芸教室～7 日 P 挨拶 5 の 3 帯教研一斉部会（5 時間授業 児童下校 14:20）	25 日	(火)	給食費納入日（中）特学合同学習発表会 図書ボランティア活動日
7 日	(金)	P 挨拶 6 の 1 名前の日 P 保体部会 19:00	26 日	(水)	国際理解教育⑦ 給食費納入日（高）
8 日	(土)		27 日	(木)	給食費納入日（予）南町中公開研究会
10 日	(月)	道 P 連研究大会帯広大会	28 日	(金)	児童会活動①（後期） 校区内巡視
11 日	(火)	体育の日	29 日	(土)	P T A 教養部主催 「稲田つ子を育む会～サイエンスショー」
12 日	(水)	P 挨拶 6 の 2 読み聞かせの会「ぐりとぐら」	31 日	(月)	校内授業研（道徳）5 の 3 国際理解教育⑧～1 日
15 日	(土)	P 挨拶 6 の 3	11 月		
17 日	(月)	P T A 総務部主催第 2 回環境整備 10:00	9 日	(水)	平成 29 年度稲田小新入学児童検診 3 時間授業 下校 12:10
19 日	(水)	臨時校務員配置（～11/4）	11 日	(金)	P T A 保体部主催ミニバレーボール大会 18:45 （練習日：1, 2, 3 年：9 日 4, 5, 6 年：10 日）
20 日	(木)	学習発表会総練習（児童向け本番）5 時間授業 学習発表会会場設営	13 日	(日)	市 P 連南ブロックフロアカーリング大会